

新庁舎・福祉会館建設に100億円余投入

2020年11月22日(日)
日本共産党・板倉真也

具体化する新庁舎・福祉会館計画

■ジャノメ跡地に建設

懸案だった新庁舎建設の具体化がすすめられている。2016年3月末に閉館した福祉会館含めて、ジャノメ跡地(中町3丁目)に建てるという。

■ジャノメ跡地

市役所建設用地として1992年に119億円(利子含む)で小金井市が取得。「財政が厳しい」を理由に放置され、リサイクル事業所(今年8月末で廃止)と公園が置かれてきた。



■新庁舎・福祉会館の計画概要(案)

敷地面積：1万1,252.05㎡	建築面積：約3,900㎡	駐車台数：124台(地上62台、臨時駐車場23台、地下39台)
用途地域：準工業地域	延床面積：約1万7,130㎡(地下含む)	駐輪台数：400台
防火地域：準防火地域	階数：地上6階、地下1階(庁舎)	建設経費：約84億4千万円(建設・外構工事)
高度地区：第2種高度地区	地上3階(福祉会館)	
日影規制：4時間、2.5時間	構造：市庁舎……鉄骨造(免震構造)	
建ぺい率：60%	福祉会館……鉄骨造(耐震構造)	
容積率：200%	最高高さ：約27m	

新庁舎と福祉会館をL字型に「重ね合わせる」

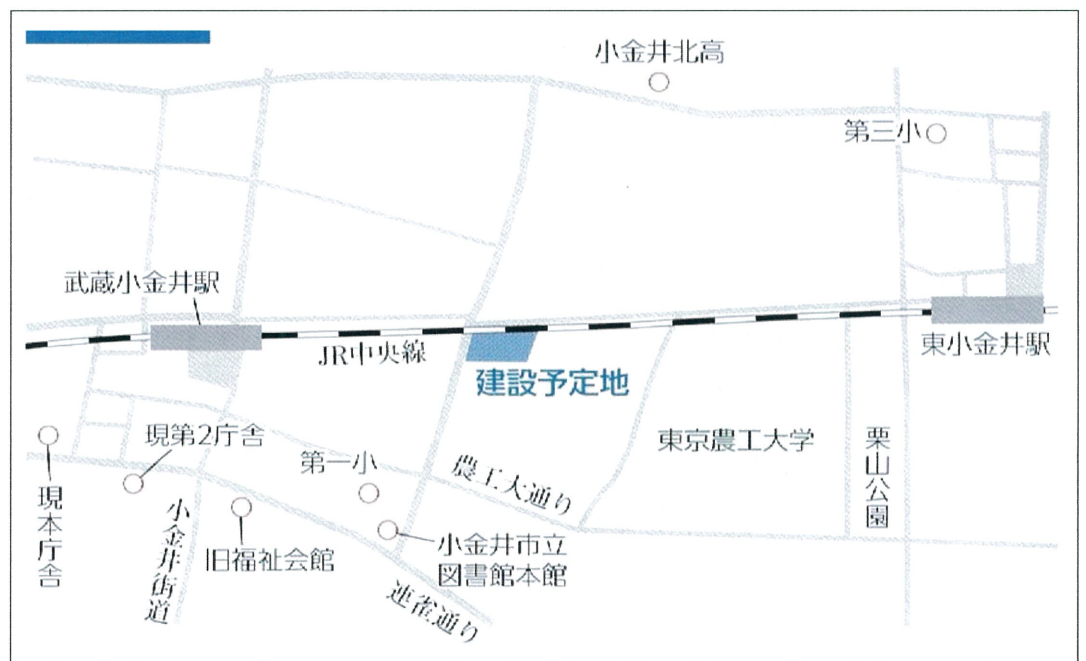
経費概要と財源内訳(案)

■関連経費含めて110億4,574万円(利子含む)

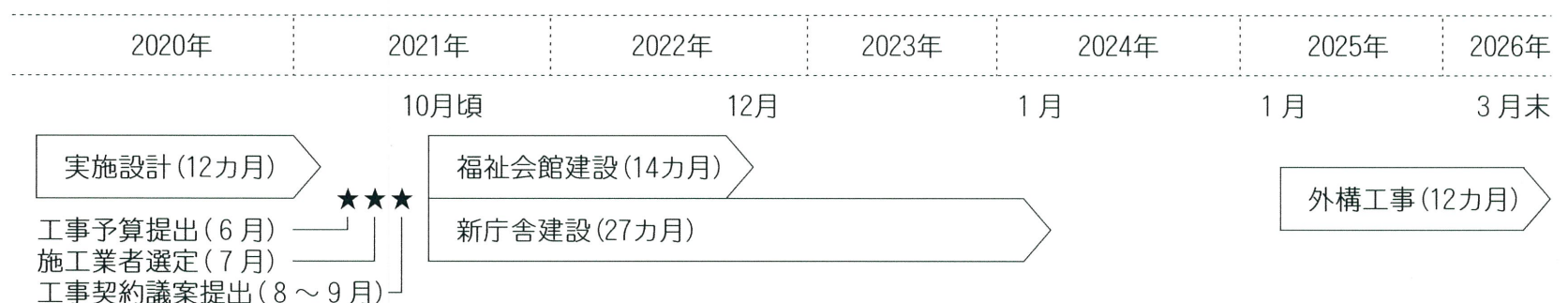
この複合施設を建てた場合、どれくらいの経費がかかり、そのための財源ではずをどのように行なうかの「財源計画(案)」および2021年度から5年間の「財政計画」が、10月2日の市議会全員協議会に示された。

建設工事に83億4,875万円、外構工事には8,342万3千円を要し、これまでの経費や関連費用を合わせると、総額で106億7,416万5千円、借金の利子含めると110億4,574万円になるという。

※別紙「新庁舎・(仮称)新福祉会館建設『財源計画(案)』」参照



■事業スケジュール(予定)



■新型コロナで税収(地方税)5%減(平均)

10月2日の市議会に示された2021年度～2025年度の「財政計画(案)」(財政収支表、基金現残高見込み)が波紋を呼んでいる。

小金井市の財政を担当する部署は、新型コロナウイルスの税収への影響を最大▲5%と見立てて、収支状況を試算。その結果、来年度(2021年度)は昨年度(2019年度)よりも税収(地方税)が10億9,400万円減収になるという。

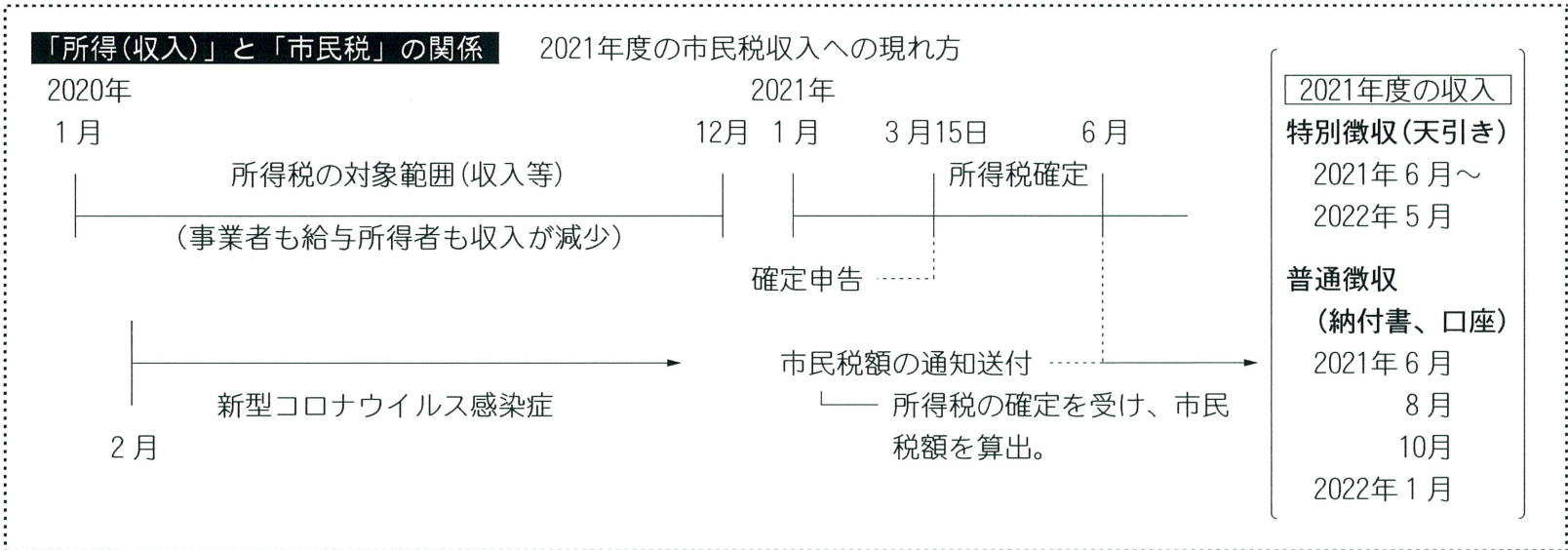
なお、新型コロナの税収減のピークが来年度(2021年度)であるならば、▲5%ではなく、▲10%程度になることも考えられるが、予測ができないため、小金井市の財政担当部署は来年度以降、毎年度、2019年度比で▲5%として見積もっている。

る。しかし、来年度は▲5%程度とは考えにくく、来年度の予算編成が最も厳しい事態を迎える。

※別紙「2021年度～2025年度『財政収支表』
『基金現在高見込み』参照

[2019年度]	
税収(地方税)	()=税収に占める割合
▷個人市民税 (50.8%)	▷市たばこ税 (2.2%)
▷法人市民税 (3.5%)	▷固定資産税 (34.8%)
▷軽自動車税 (0.3%)	▷都市計画税 (8.4%)

※リーマンショック時(2008年10月～)の税収(地方税)は最大で▲2.7%(2010年度)。5年間平均では▲1.1%。
※リーマンショック時のGDPは最大▲3.4%(年率)。新型コロナのGDP(今年4月～6月)は▲28.1%(年率換算)。
※リーマンショックは「瞬時」。新型コロナは「継続中」。しかも終息時期みえず。



■ 5年後(2025年度)に基金(貯金)総額が9分の1に激減
10月2日の市議会に示された2021年度～2025年度の「基金現在高見込み」では、現在、43億2,400万円保有している財政調整基金が、5年後の2025年度には7億6,100万円になると試算している。税収(地方税)が新型コロナで大きく落ち込む一方、新庁舎・(仮称)新福祉会館建設などで支出が増加し、多額の財政調整基金を使わざるをえなくなるというもの。それ以外の基金を合計しても、現在91億円余あるものが、5年後には10億円余にな

■ 8年前は「危機的財政状況」表明。「行革」推進へ
8年前の2012年度にも同じ状況を迎えた。2011年度末の財政調整基金は16億1,216万6千円あったが、翌年の2012年度末には11億1,258万9千円に、2013年度末には8億7,294万6千円へと落ち込んだ。
小金井市は2012年3月、突如「危機的財政状況」を表明。2012

■ 背景に「駅前開発」
小金井市は「世界的な経済不況や東日本大震災(2011年3月)の影響から、大幅な市税収入の減と社会保障関連経費等の増」を理由に上げたが、それだけではない。
2011年度、小金井市は市民交流センター(宮地楽器ホール)取得のために42億円近くを投入。基金や市税収入をつぎ込み、27億

■ 今回は庁舎・福祉会館などのハコモノ建設
では、今回はどうなのか。今回は、新庁舎・(仮称)新福祉会館の建設、清掃関連施設の整備が、それにあたる。少なくとも、新庁舎・(仮称)新福祉会館建設費のコスト削減は行なうべきであろう。しかし小金井市は今日まで、経費が膨らもうともしゃにむに突き進んでいる。

■ 膨らむ建設費。この先、不透明
2018年12月14日時点
建設費 74億7,602万9千円
外構整備費 3億 692万4千円
77億8,295万3千円
2020年6月17日時点
建設費 83億4,875万円
外構整備費 8,342万3千円
84億3,217万3千円 …………… このまま進めば「危機的財政状況」となり、「行革」が押し寄せることになる！

るという。
あくまでも、税収が市の想定どおりに収まり、支出が現在想定している額よりも超えないことを前提としている。

■ 財政調整基金
何に充ててもかまわない小金井市の貯金。年間収支の黒字分を財政調整基金に積み立てている。それ以外の基金は、使用目的が限定されている。

年6月には「危機的な財源不足」を訴えはじめ、小金井市の関係組織(行革市民会議、監査委員)が相次いで「行革推進」を要求しはじめた。そこから、小学校給食調理業務の民間委託化、学童保育所の委託化、公立保育園委託化の協議開始、貫井北町地域センターの委託化が怒濤のように押し寄せた。

9,120万円の借金を行なった。その前年の2010年度は、武蔵小金井駅南口第一地区の再開発事業に4億円、東小金井駅北口区画整理事業に9億3,600万円を投入。財源確保のために4億4,120万円の借金を行なっている。駅前開発に多額の費用があてがわれていたのが実態である。

しゃにむに突き進む

2019年5月9日 設計業者が市議会に計画案を説明

2019年5月15日「市報こがねい」
計画案とともに、市民ワークショップ参加者と、こがねいミーティングメンバーの募集記事を掲載

2019年5月～11月 市民ワークショップ(計4回/各30人)
※計画案を作成した事業者が進行役に

2019年6月～12月 こがねいミーティング(計4回/各5人)

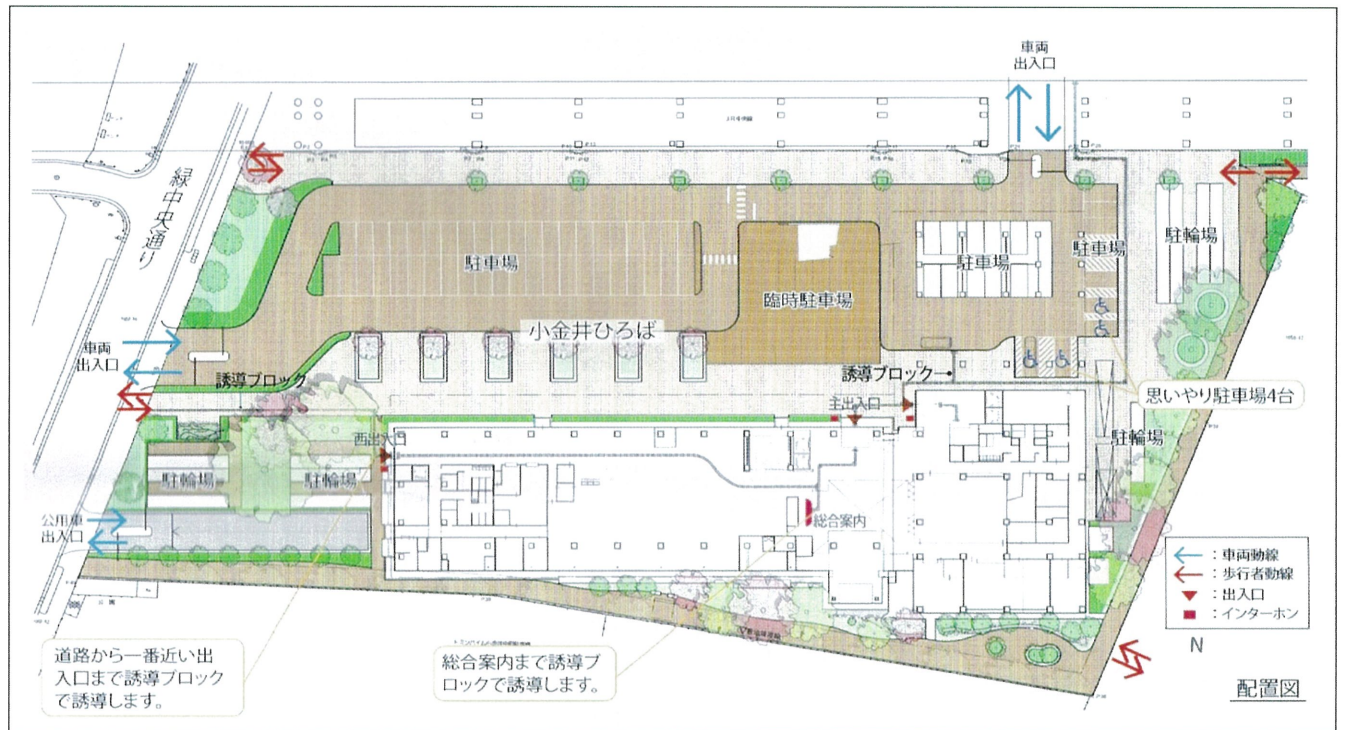
2020年2月6日～3月5日 市民意見を募集

2020年2月15日～22日 市民説明会(計4箇所)

2020年6月 計画案をもとに実施設計着手(12カ月)

計画概要(案)の問題点

- ①安全性に疑問。「小金井ひろば」の真ん中に駐車場。
- ②駐車場スペース確保のため、現在3千㎡ある広場が極端に狭くなる。
- ③市庁舎が南側にあるため、北側の「小金井ひろば」に影が落ちる。
- ④福祉会館と市庁舎をL字型で重ねるため、福祉会館側に昼間の太陽があまり当たらない。
- ⑤免震構造の市庁舎と耐震構造の福祉会館とでは地震の際の揺れ方が異なり、市庁舎と福祉会館の連絡部分にひずみが生じる。
- ⑥市庁舎と福祉会館のL字型で重ねる構造は、表面積が増える分、経費が余計にかかる。



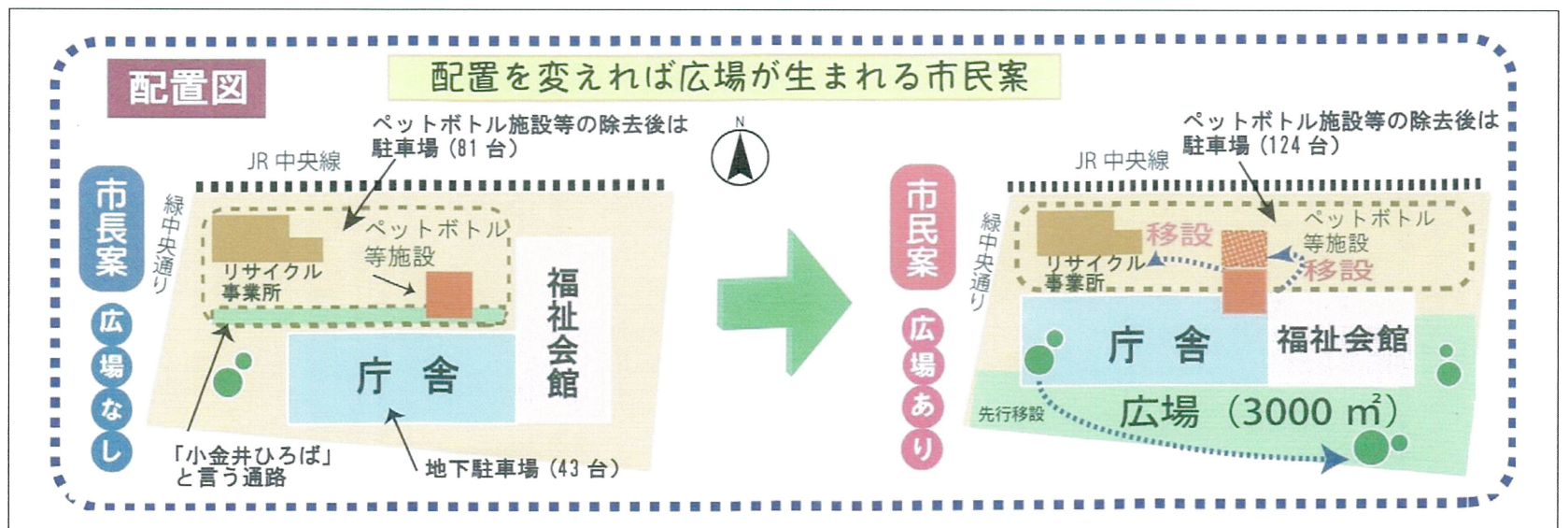
市議会は、設計業者が計画案を示して以降、広場の在り方や建物形状・構造など、様々な意見を述べてきた。しかし、ほとんど聞き入れられず、上記の計画概要(案)が設計業者から示されると、西岡市長は「進めさせてほしい」の一点張りとなった。そして、市民意見募集(パブリックコメント)、市民説明会を迎えた。

■市民意見募集・市民説明会の意見等を無視

小金井市が今年2月6日から3月5日まで行なった市民意見募集(パブリックコメント)には395件の意見が。その多くが「広場面積の増」「建物構造の見直し」を求めている。2月15日から22日まで市内4箇所で行なわれた市民説明会でも、同様の意見が寄せられた。ところが、進行中の設計内容に大きな影響が

及ばない程度の部分修正(駐車場スペースの若干の縮小)のみとし、今年6月からは実施設計(各階ごとの詳細な設計図作成)へ突入した。西岡市長にとって、市民意見募集(パブリックコメント)や市民説明会は形式的なものであり、「スケジュール先にありき」のなにものでもないことが明らかとなった。

市民が対案を提示



問題多い市長案に対して、一級建築士で工事監理者の資格を持つ市民が、今年3月に独自の施設案を示しました。内容は、①陽の当たる建物南側に約3千㎡の広場を確保する、②L字型の建物ではなく直接型の建物に改め、福祉会館にも陽が当たるようにする、③福祉会館、市庁舎ともに免震構造にして安全性を確保する、④福祉会館と市庁舎を同時着工し、同時竣工する、⑤市長案より着工時期が遅れるものの、市庁舎の竣工時期が3カ月早まり、工期短縮・工費縮減になる、⑥市長案よりも床面積縮減となることから、建設費の削減につながる——というもの。

■計画見直し求める声を大きく

市民が示した施設案を紹介したチラシが市内に配布され始めている(4万枚作成)。高い経費・狭い広場の「市長案」をストップさせ、経費削減・建物南側に3千㎡広場の「市民案」へと世論を高めていくことが求められる。建設予算が議会に提案されるのは来年6月。コロナで税収が減少する中、市民のくらし・営業にこそ財源を充てるべきである。3月には市議選も戦われる。

2021年度～2025年度「財政収支表」「基金現在高見込み」

財政収支表

単位／百万円

		2019年度 決算	2020年度 6 回補正	2021年度 (想定)	2022年度 (想定)	2023年度 (想定)	2024年度 (想定)	2025年度 (想定)	備 考
歳入	地方税	21,868	21,480	20,774	20,774	20,774	20,774	20,774	2019年度決算の▲ 5 %
	地方譲与税	166	179	179	253	253	253	253	
	地方消費税交付金	1,926	2,629	2,498	2,498	2,498	2,498	2,498	
	利子割交付金等	391	394	378	374	374	374	374	
	地方交付税等	335	105	137	137	137	137	137	
	国庫支出金	15,297	29,164	15,212	14,663	15,253	15,694	14,685	
	繰越金	1,815	2,225	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	
	地方債	1,342	1,046	2,861	3,596	2,895	3,022	289	
	その他	1,977	1,529	1,573	1,573	1,573	2,273	1,573	
	歳入合計	45,117	58,751	44,612	44,868	44,757	46,025	41,583	
歳出	人件費	6,109	6,790	6,560	6,560	6,560	6,560	6,560	
	扶助費	12,778	25,994	15,000	15,100	15,200	15,300	15,400	
	公債費	2,375	2,313	2,289	2,231	2,167	2,061	2,094	
	物件費	7,184	8,804	7,302	8,073	8,501	7,596	7,320	
	投資的経費	4,642	3,906	6,014	5,906	5,517	5,414	1,392	
	その他	11,671	12,202	9,998	9,927	10,217	10,265	10,332	
	歳出合計	44,759	60,009	47,163	47,797	48,162	47,196	43,098	

		2019年度 決算	2020年度 6回補正	2021年度 (想定)	2022年度 (想定)	2023年度 (想定)	2024年度 (想定)	2025年度 (想定)	備 考
収 支	収支	358	▲1,258	▲2,551	▲2,929	▲3,405	▲1,171	▲1,515	
	基金からの繰入金	1,881	1,258	2,551	2,929	3,405	1,171	1,515	
	基金繰入後の収支	2,239	0	0	0	0	0	0	

基金現在高見込み								単位／百万円
基金名	2019年度 決算	2020年度 6 回補正	2021年度 最終額	2022年度 最終額	2023年度 最終額	2024年度 最終額	2025年度 最終額	備 考
財政調整基金	4,644	4,324	3,544	2,953	1,441	1,292	761	
職員退職手当基金	9	9	9	9	9	9	9	
庁舎建設基金	2,900	2,674	2,046	969	84	84	0	
地域福祉基金	768	760	524	100	100	100	100	
新型コロナウイルス 感染症対策基金	—	183	0	0	0	0	0	
環境基金	1,738	1,017	993	856	548	226	26	
都市再開発整備基金	3	3	3	3	3	3	3	
みどりと公園基金	3	10	10	10	10	10	10	
市営住宅整備基金	60	60	60	60	60	60	60	
教育施設整備基金	208	63	63	63	63	63	63	
合 計	10,333	9,103	7,252	5,023	2,318	1,847	1,032	

新庁舎・（仮称）新福祉会館建設「財源計画（案）」

（単位／千円）

項 目		～2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	合 計
支出	建設計画等調査	20,348								20,348
	（仮称）新福祉会館建設基本計画	10,584								10,584
	基本設計		65,534							65,534
	実施設計			71,600	167,100					238,700
	工事監理				21,168	45,931	26,094			93,193
	コンストラクションマネジメント業務		46,440	43,571	11,220					101,231
	建設工事（Ⅰ期工事）				1,896,383	4,114,768	2,337,599			8,348,750
	外構工事（Ⅱ期工事）								83,423	83,423
	備品					22,103	375,195			397,298
	移転費用					13,376	93,599			106,975
	第二庁舎現状回復							220,000		220,000
支出合計（A）		30,932	111,974	115,171	2,095,871	4,196,178	2,832,487	220,000	83,423	9,686,036
財源	一般財源	30,932				35,479	468,794			535,205
	非常用発電機設置補助金（都補助金）			549	1,280		64,633			66,462
	庁舎建設基金繰入金		111,974	114,622	627,908	1,077,251	885,460		83,423	2,900,638
	地域福祉基金繰入金				235,683	424,248				659,931
	地方債 ※起債充当率 63.5%				1,231,000	2,659,200	1,413,600			5,303,800
	諸収入（返還金）							700,000		700,000
財源合計（B）		30,932	111,974	115,171	2,095,871	4,196,178	2,832,487	700,000	83,423	10,166,036
差 額（C）＝（A－B）		0	0	0	0	0	0	480,000	0	480,000

清掃関連施設整備事業「財源計画(案)」

(単位/千円)

項 目		2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	合 計
支 出	「二枚橋」設計費、設計・施工監理業務 等		157,515						157,515
	「二枚橋」建設費、設計・施工監理業務 等			1,339,107					1,339,107
	「中間」設計費、「中間」解体撤去費 等				796,414				796,414
	「中間」建設費、設計・施工監理業務 等					929,225	2,741,200		3,670,425
支出合計			157,515	1,339,107	796,414	929,225	2,741,200		5,963,461
財 源	一般財源		11,111	124,372	109,000	116,317	315,101		675,901
	国庫支出金		41,504	250,035	49,714	218,808	640,199		1,200,260
	都支出金								
	地方債		70,800	925,100	551,900	574,600	1,752,400		3,874,800
	基金(財政調整基金、環境基金)		34,100	39,600	85,800	19,500	33,500		212,500
	その他								
財源合計			157,515	1,339,107	796,414	929,225	2,741,200		5,963,461

【備考】二枚橋焼却場跡地の設計施工を先行し、2021年度竣工目指す。

中間処理場の解体および設計施工は、2021年度中に事業者選定、2024年度中の竣工目指す。

